



令和 7 年度(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

CSW 活動報告書



C こまったときの S そうだんは W わたしたちへ

社会福祉法人
所沢市社会福祉協議会



目 次

■はじめに	1
■コミュニティソーシャルワーカー(CSW)とは.....	2
CSW スナップ集.....	4
■CSW 活動報告	
Ⅰ 相談集計.....	6
Ⅱ 地域支援活動	
(1) こども支援活動.....	8
(2) 災害に対する取り組み.....	10
(3) 地域福祉サポーター活動への支援	11
(4) 普及・啓発 (5) 人材発掘・育成.....	12
(6) 地域の実態把握 (7) 地域の拠点活用	13
Ⅲ 事例報告	
(事例1)個別支援.....	14
(事例2)地域支援	15
♪ CSW コラム	16
■終わりに/■ホームページ等一覧/■編集後記	17

■はじめに

日頃より、本会の活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。このたび、令和 7 年度の CSW 活動報告書を作成いたしましたので、ここにご挨拶を申し上げます。

本会は令和 7 年度も、地域福祉の向上に向けて様々な取り組みを進めてまいりました。

CSW や地域への理解および関心を高めるため、所沢市の公式キャラクターでもあるところんの所属する「ひこーきズ」を所沢市こどもと福祉の未来館に招き、クイズ形式の企画を通じて、CSW の活動をより多くの市民の皆さまに知っていただく機会を設けました。関係機関や地域団体、市民の皆さまに CSW の活動への理解を一層深めていただくとともに、連携を強化することで、地域に根ざした包括的な支援体制の充実を図ることが、本会の重要な使命であると考えております。

こども支援活動においては、「こどもの居場所ネットワーク所沢」をさらに発展させ、ウェブサイトの情報をもとにしたマップをパンフレットとして作成いたしました。市内のこどもの居場所活動団体の交流促進や、情報発信の充実を図るとともに、寄付者や協力者の受け入れ体制の整備を進めております。また、実際に利用するこどもたちにも届きやすい情報発信のあり方について、引き続き工夫を重ねてまいります。

令和 7 年度は、地域の実情をよりの確に把握するため、地域の各種団体や自治会長の皆さま等、多くの地域関係者へのヒアリングを実施いたしました。このヒアリング結果は、本会の「第 6 次所沢市地域福祉活動計画」を「所沢市の第 4 次所沢市地域福祉計画」と一体的に策定するために活用し、より地域の実情に即した計画となるよう進めてまいります。

本報告書では、本会 CSW の活動内容および成果について詳しく記載しております。皆さまにおかれましては、本報告書をご高覧いただき、CSW の活動へのご理解を一層深めていただくとともに、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



所沢市社会福祉協議会
会長 本橋 栄三

こんな困り事は
CSW (コミュニティ・ソーシャル・ワーカー)
にご相談ください！

**誰かと
繋がりたい**
引っ越して家で
ひとりぼっち…
地域で繋がりが
欲しい

**地域のために
何かしてみたい！**
みんなが
楽しめる場所を
つくりたい
CSWと
地域のことを
一緒に考えたい

**こどもを育て
どんなところが？**
地域の人と
交流したい
こどもが通える
居場所を知りたい

**不安な気持ちを
相談したい**
人との関わり方
がわからない
家に閉じこもりがち
で今更が不安
秘密厳守
相談無料

**何から相談すれば
いいかわからない**
どこの窓口で相談
したらいいかわからない

相談方法は
電話 ・ 訪問
メール ・ 来所
HPはこちら

CSWって？(コミュニティソーシャルワーカー)
暮らしや地域のお困り事を地域の方々や関係機関と
ともに協力して、解決に向け取り組みます。

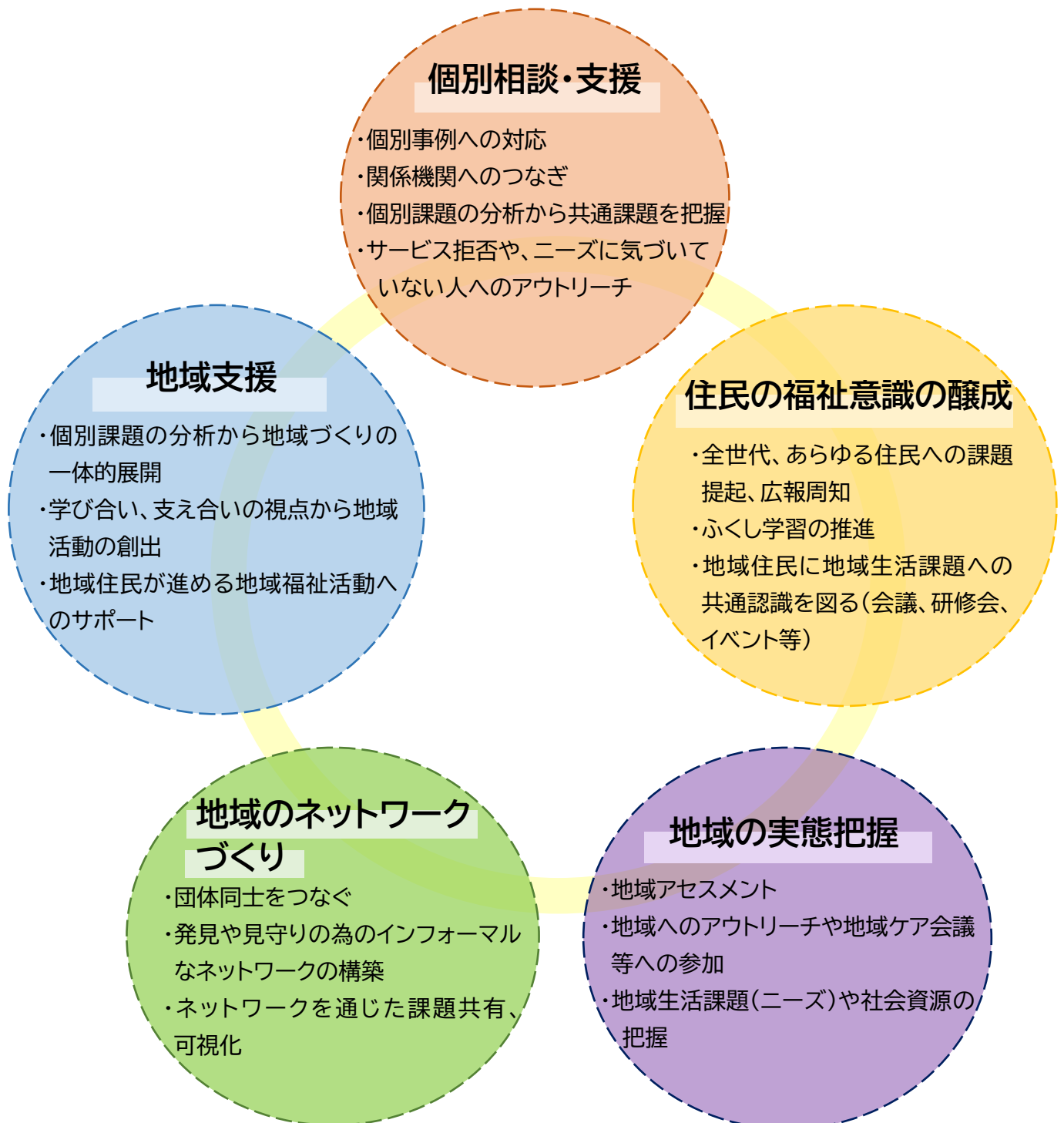
詳しくはこちら▼



■コミュニティソーシャルワーカー(CSW)とは

市内11行政区ごとに担当のCSWを配置し、地域に出向き複合的な生活課題を抱えた個人や家族に対して必要なサービスや専門機関へのつなぎ等、包括的な相談支援を行います。また、個々の困りごとを地域の課題として捉え、地域住民や民生委員、多様な関係機関等と連携を図り、こども食堂の立ち上げや多世代交流の場づくりを行いながら、誰もが暮らしやすい地域づくりに取り組みます。

CSW の主な役割



CSW の実践体制

CSW はチームで活動しています！

●圏域会議/月 2 回(各圏域)

市内行政区を中央・西部・東部圏域ごとにユニットを組み、各地区での支援の進捗や地域の状況等を共有し連携体制を構築します。

●CSW 会議/週 1 回

CSW が担う様々な業務について、より良い支援の仕組みづくりに向けて、ともに協議し事業を推進します。

●CSW 事例検討会/月 1 回

解決困難なケースを共有し、互いに対応方法の提案や、意見を交換する中で学識経験者から助言をもらいながら支援の方針を協議します。



圏域会議



CSW 会議



CSW 事例検討会

CSW の実践力の向上

●豊島区民社会福祉協議会との人事交流

相互交流を通じて CSW の見識を深めることを目的に、令和 7 年 10 月～令和 8 年 2 月までの計 5 日間で実施しました。

●他の社会福祉協議会との情報交換会

先駆的な地域支援の取り組みを学ぶため、令和 7 年度は大田区社会福祉協議会並びに、文京区社会福祉協議会と情報共有を実施しました。



●上記の他、「内部連携研修」「外部連携研修」を実施し、CSW のスキルアップを図っています。



CSW の役割や活動の一部を写真で紹介！

個別相談・支援



各地区での相談会の実施や地域の会議・集まりに出席し、個別の相談に対応しています。



地域の居場所で気軽に相談



地域に出向いた相談会

住民の福祉意識の醸成

所沢市の福祉活動推進のため、福祉に関するイベントや広報活動に取り組んでいます。

地域福祉の活動の財源になる共同募金運動をはじめ、市内の学校へのふくし学習や自治会・サロンへの出前講座を行い、より良い福祉の地盤づくりに努めています。



共同募金オリジナルグッズの作成



小学校でのふくし学習



夏のボランティア体験

地域支援

住民主体の地域福祉活動を側面的に支援しています。また、地域福祉活動を主体的に取り組む地域福祉サポーターを養成しています。



地域福祉サポーター養成講座



エミテラス所沢でのこども支援活動

地域のネットワークづくり

会議等に出向き、顔の見える関係づくりに努めています。また、地域のネットワーク促進のためにイベント等を実施しています。



所沢市自治連合会との懇談



ボランティア団体情報交換会

地域の実態把握

地域課題やニーズを把握するため、各地区の地域ケア会議等にも参加しています。地域福祉活動計画策定に向けてヒアリングを行いました。



地域福祉活動計画策定に向けた地域ヒアリング



地域ケア会議に参加

CSW 活動報告

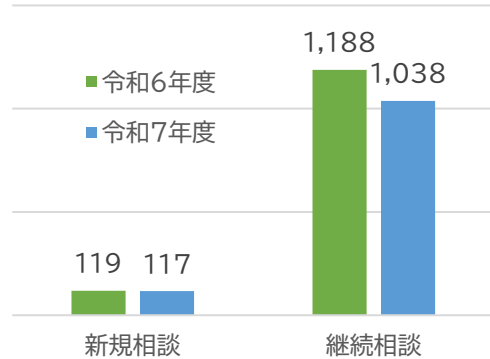
I 相談集計

令和 7 年度に、CSW が対応した相談件数、相談対象者、相談者種別および相談内容等を集計したものです。

【相談対応件数】(単位:件)

(延べ件数)	令和 6 年度	令和 7 年度
新規相談	119	117
継続相談	1,188	1,038
合計	1,307	1,155

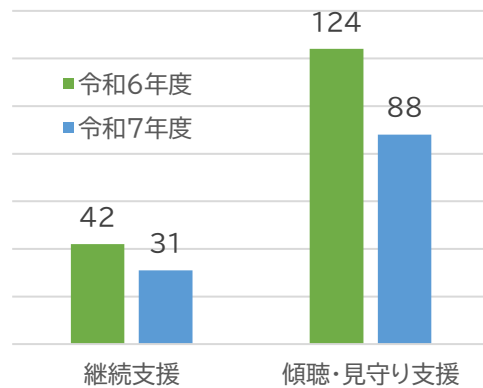
他機関につなげる等、情報提供のみ行うケースが増加したため、継続相談の件数が減少しています。



【相談支援世帯数】(単位:件)

	令和 6 年度	令和 7 年度
継続支援	42	31
傾聴・見守り支援	124	88
合計	166	119

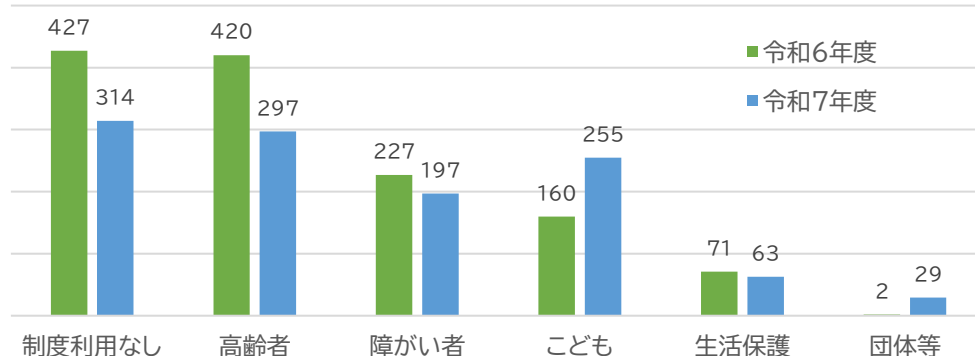
定期的な支援評価を行った結果、生活状況が安定し、支援を終了する世帯が増加しています。



【対象者種別】(単位:件)

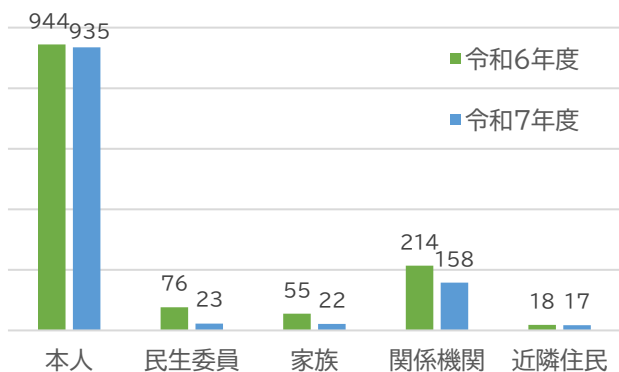
(延べ件数)	令和 6 年度	令和 7 年度
制度利用なし	427	314
高齢者	420	297
障がい者	227	197
こども	160	255
生活保護	71	63
団体等	2	29
合計	1,307	1,155

こどもの居場所団体のネットワークを立ち上げ、連携体制を強化したことにより、こどもに関する相談が令和 6 年度に比べ 95 件増加しています。

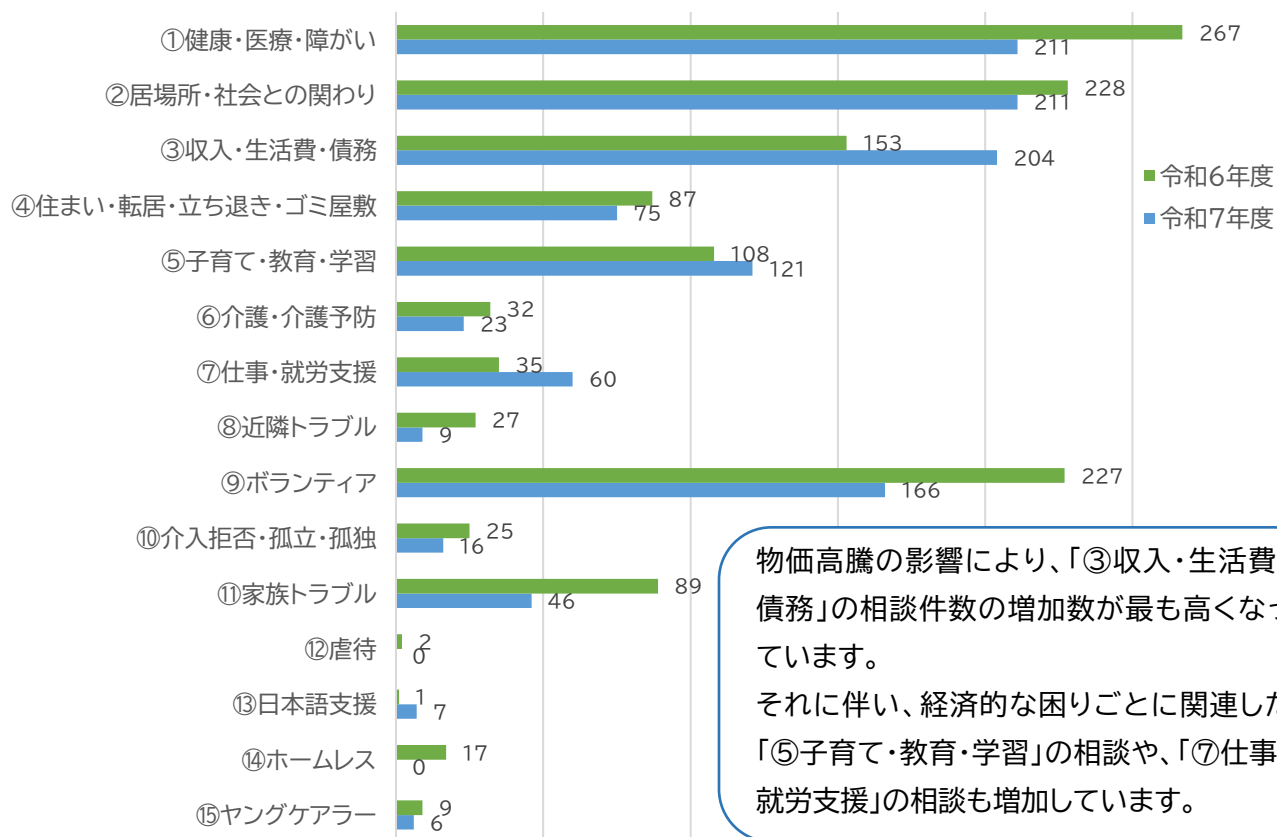


【相談者種別】(単位:件)

(延べ件数)	令和 6 年度	令和 7 年度
本人	944	935
民生委員	76	23
家族	55	22
関係機関	214	158
近隣住人	18	17
合計	1,307	1,155

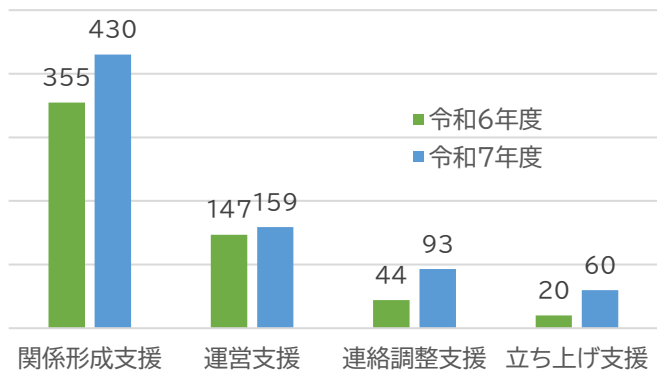


【相談内容】(単位:件)



【地域支援件数】(単位:件)

(延べ件数)	令和 6 年度	令和 7 年度
関係形成支援	355	430
運営支援	147	159
連絡調整支援	44	93
立ち上げ支援	20	60
合計	566	742



Ⅱ 地域支援活動

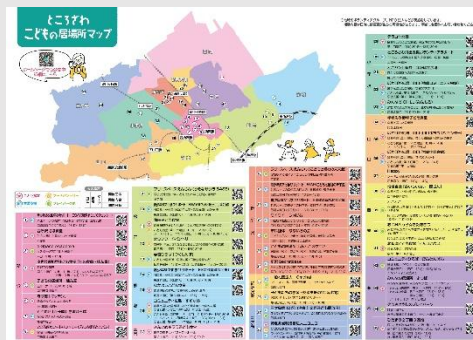
(1) こども支援活動

こども支援活動として、CSW がこどもの居場所の立ち上げ支援や、活動に対する助成金の支援を行うほか、活動を支援したい企業等とのつなぎ役となりました。また各関係機関と連携し、必要な世帯と団体をつなぐ支援も行いました。

市内のこどもの居場所実施団体の横のつながりづくりも行いました。

「こどもの居場所ネットワーク所沢」 ウェブサイトの更新とマップの作成

詳しくはこちら▶



所沢市内のこどもの居場所を周知することを目的に、「こどもの居場所ネットワーク所沢」を令和 6 年度に設立し、ウェブサイトにて情報発信をしてきました。

令和 7 年度には「ところざわ こどもの居場所マップ」を 2,000 部発行し、所沢市内のこどもの居場所を紙媒体でも紹介しています。

こどもの居場所情報交換会



こどもの居場所団体や団体立ち上げを検討中の方を対象に、情報共有やつながりづくりを目的として、団体による活動発表とグループワークを実施し、各団体の強みや工夫、課題等を共有しました。



22 団体 32 名、個人 4 名の参加に加え、行政や企業の参加もあり、こどもの居場所の現状や課題を知ってもらう良い機会となりました。





こどもの居場所づくり助成金の拡充



「笑顔でごはんフードパントリー事業」を「こどもの居場所づくり助成事業」と一体化し、食料品の提供から助成金の交付に変更しました。

見直しにあたっては、活動団体から寄せられた意見を踏まえ、より活動の実情に応じた内容となるよう努めました。



歳末子育て応援！フードパントリー ・ 新学期応援！図書カード配布

「歳末子育て応援！フードパントリー事業」では、市内9カ所のフードパントリーを通じて、256 世帯へ食料品等を届けるとともに、活動団体の運営支援を行いました。物品については、「所沢市こども未来基金」および「共同募金配分金」の活用に合わせて、8 つの企業・団体・学校からご提供、仕分けへのご協力をいただきました。

また、新学期応援として 6 か所の学習支援団体を通じて 90 名に「図書カードネットギフト」を配布しました。



(2)災害に対する取り組み

令和 7 年度は災害ボランティアセンターセミナーと市民スタッフフォローアップ講座を行いました。また市民スタッフをはじめとする地域住民の力を活かした復興活動ができるように努めました。

詳しくはこちら▶



災害ボランティアセミナー・市民スタッフフォローアップ講座



令和 7 年 6 月に災害ボランティアセンター(以下、VC)に関する活動を実施しました。午前中は、被災地で活躍する講師より、59 名の参加者へ災害に関するセミナーを行いました。

午後は、所沢市の災害 VC 市民スタッフである 19 名がより実践的な内容として、所沢市が被災地になった場合を想定したニーズの聞き取り訓練を行い、被災者に寄り添った支援ができるように備えました。

市民スタッフの会運営支援



10 月に行われた所沢市民フェスティバルでは、福祉コーナーを主催しました。当日は 34 団体の施設やボランティア団体等が参加し、福祉の理解促進を図りました。

出展の一つとして災害 VC 市民スタッフの会も参加し、防災クイズ、パネル展示等で啓発活動を行いました。

福祉コーナーには、380 名以上の参加者が来場し、福祉と防災を考える良いきっかけとなりました。

(3)地域福祉サポーター活動への支援

地域福祉サポーターは、身近な地域で起きている問題等に”気づき”CSWへのつなぎ役であると同時に、問題の解決に向けて一緒に取り組みながら、自ら助け合いの地域づくりに参画する地域の支援者であり、現在 201 名が登録しています。

各地区のサポーターとの連絡会を行うことで CSW と連携し、一丸となって誰もが暮らしやすい地域づくりを目指しています。

詳しくはこちら▶



地域福祉サポーターの活動



サポーター交流会



サポーターによる街頭募金活動



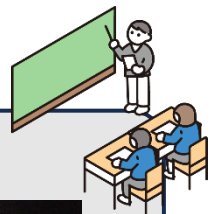
サポーター勉強会

CSW は地域福祉サポーターが主体のボランティア活動や地域特性を活かした交流活動を側面的に支援しています。サポーター主催の勉強会は 3 回、各地区の代表者が集まる連絡会は 11 回開催され、サポーター同士のつながりを強める交流会には 28 名が参加し、地域福祉のネットワークを広げることができました。

地域福祉サポーターフォローアップ講座

日頃の活動を振り返り、役割の再確認やモチベーションの向上を図ることを目的として、地域福祉みらいフォーラムへの参加を呼びかけました。

地域福祉サポーターを含め 126 名が参加し、講義では「おひとり様」をテーマに地域でのつながりづくりについて学び、CSW からの実践報告ではサポーターと連携した事例を報告しました。



(4)普及・啓発

CSW 啓発イベント



配置 10 年目を迎える CSW の啓発を行い、より CSW・地域への関心を高め、広い理解につなげることを目的として、啓発イベントを実施しました。

啓発パネル展示やステッカーの配布、「ひこーきズ」との写真撮影会等を行い、累計 449 名に参加していただき、CSW を知っていただくことが出来ました。

(5)人材発掘・育成

地域福祉の推進を図るため、学校等における「ふくし学習」のプログラムについて依頼を受け、こどもの頃から幅広く「ふくし」に触れる機会を提案しています。

詳しくはこちら▶



ふくし学習



令和 7 年度は市内小学校 32 校のうち 19 校、中学校 15 校のうち 6 校、専門学校等からの依頼があり、CSW が講師の派遣や備品貸出の調整を行いました。

実際に地域で活動する方々との交流にもつながるよう、民生委員や地域福祉サポーターにもボランティアとしての協力を呼びかけ、生徒の学びが深まるような声かけや見守り等をサポートしていただきました。

(6) 地域の実態把握

地域ヒアリング



「第 6 次所沢市地域福祉活動計画」に住民の声を反映するため、各地域包括支援センター主催の 14 カ所の地域ケア会議に参加しました。民生委員や自治会、福祉・医療関係者等から、住民主体の活動や地域に埋もれがちなニーズ、複雑・複合化した課題への対応についての意見を聞き取りました。

(7) 地域の拠点活用

新たな拠点づくり



金山町と緑町にある遺贈等による空き家を活用して、地域住民が気軽に集える拠点づくりを進めています。活用の仕方を話し合う会議・見学会を、金山町では 9 回、緑町では 3 回開催し、地域住民の皆さんと一緒に検討を重ね、活用のルール、どのような拠点にしていきたいかを協議しました。

Ⅲ 事例報告

(事例 1) 個別支援

本人の強みを活かした生きがいづくりの支援

【相談経路】

A さんより「ボランティア活動をしたいが、どのような活動があるか紹介してほしい」と相談が入りました。

A さんは休日を一人で過ごすことに孤独や将来への不安を感じており、外出の機会を求めています。母親から気分転換としてボランティア活動を勧められたことや、職場が副業禁止であること等から興味を持ち、自ら探す中で「生まれ育った地元に貢献したい」という気持ちが芽生えたとのことでした。

【CSW の関わり】

最初の面談で A さんの思いや不安をじっくりと聞き、信頼関係を深めながら、少しずつ活動に参加できるよう丁寧に寄り添い、サポートしました。

①面談による不安の軽減とニーズ把握

ボランティアの経験や知識がないことや、「男性であることで周囲から警戒されないか」という不安を抱えていたため、気持ちに寄り添いながらボランティア活動の仕組みについて丁寧に説明しました。

複数の活動を提示したところ、自身の運送業の経験が活かせる「フードパントリー活動」に興味を示したので、見学調整を行いました。

②活動現場への同行と環境調整

初めての活動であったため見学当日は CSW が同行し、既存のスタッフとのやり取りをフォローしました。日頃からスタッフと関係性のある CSW が間に入ることで警戒感なく迎え入れられ、A さんも安心して参加することができました。



③居場所への定着とやりがいの醸成

スタッフからの温かい受け入れもあり、A さんにとって居心地の良い場となったことで継続的な参加につながりました。スタッフや食料品を受け取りに来るこどもたちとの触れ合いを通じて成長を見守ることに喜びを見出し、活動へのモチベーションや、やりがいが高まりました。



【成果と今後】

フードパントリー活動をきっかけに自己啓発への意識が高まり、本会のボランティア情報配信サービスに登録し、興味のある活動や講座へ主体的に参加・受講するようになりました。

ボランティア活動を通じて地域や人とのつながりを実感したことで、以前に比べて前向きかつ主体的に行動する等、意識や行動における好ましい変化が見られます。

CSW としても A さんの強みや「やってみたい」という思いを活かしながら、いきいきと活動できるよう伴走していきます。

Ⅲ 事例報告

(事例 2) 地域支援

誰でも参加できる地域の居場所の運営支援

【相談経路】

Bさんは所沢市に10年程住んでいるにもかかわらず、自分の住んでいる団地の住民との関わりがなく、地域のことが何も分からないということに気づき、不安な気持ちになりました。

そこで、同じ思いを持つ人と一緒に地域福祉サポーターに登録をしたことをきっかけに、団地の住民やUR(独立行政法人都市再生機構)のコーディネーター、CSW等と協力して誰でも参加できる地域の居場所を立ち上げることにしました。

【CSWの関わり】

団体の立ち上げから現在に至るまで、組織運営の段階に応じた側面的な支援を行いました。



①課題の共有から実践へつなげる伴走支援

地域の状況や課題等を共有し、どんな活動にしたいかを明確にするサポートを行いました。

また、「まずはあるもので、できることからやってみませんか」という声かけにより活動の後押しを行いました。

②助成金の情報提供・調整

本会の「応援します！地域福祉活動助成事業」の情報提供や申請支援を行い、立ち上げや運営における活動資金の確保に協力しました。また、地域の方からの食料品等の寄付の問い合わせが本会にあったときには、受け入れ先としてつなぎました。



③スタッフや参加者の募集と活動の周知

ボランティア活動希望者の紹介や、「こどもの居場所ネットワーク所沢」のウェブサイトや「ところざわ こどもの居場所マップ」への掲載を通じて、活動の周知や協力者確保の支援をしました。



【成果と今後】

おひとり様でも障がいのある方でも誰でも参加できる「みんなの居場所」をコンセプトに活動しており、参加している多くの方が、初めての方との出会いや障がいのある方と高齢者がともに過ごすことに楽しさを感じています。Bさん自身も、周囲に相談できる人がいない、隣に住んでいる人の顔も分からない状況だった開始時と現在を比べると、地域のつながりができていて、当初の目的を達成しつつあると感じています。

今後も様々な人が参加し、つながりをつくることのできる居場所を長く続けていけるようにCSWが側面的に支援していきます。

♪CSW コラム

～CSW(コミュニティソーシャルワーカー)のとある一日～



CSW ミーティング

CSW 間で情報共有や事例検討を行っています！



相談者宅へ外出

相談支援や、見守り、安否確認の他、必要な支援を提供するために訪問等を行います。



小学校でのふくし学習

市内小中学校等で地域共生社会の実現に向けたプログラムを展開しています！



関係機関との連携

まちづくりの推進のため、会議等で情報共有を行っています。



こどもの居場所への参加

「こども未来基金」を活用したこどもの居場所団体へ助成や、立ち上げの相談等も受けており、活動にも参加させていただいています！



■終わりに

本報告書の作成にあたり地域福祉活動計画の策定にご尽力いただき、現在では CSW 事例検討会へ学識経験者としてご協力いただいている、田中英樹氏よりコメントをいただきました。



日本医療大学通信教育部(部長)教授
早稲田大学名誉教授 東京通信大学名誉教授 博士
田中 英樹 氏

【略歴】

1972 年、川崎市入職、佐賀大学助教授、長崎ウエスレヤン大学教授、早稲田大学教授、東京通信大学教授を経て2023年4月から日本医療大学通信教育部(部長・教授)

「CSW の役割は地域福祉活動の機関車」

令和 7 年度 CSW 活動報告書を拝読し、私が住んでいた所沢が地図のように脳裏に浮かんできた。そこで活躍する CSW の一人ひとりの笑顔も見させて頂いた。利用者の皆様も地域で関わる民生委員や自治会の関係者、地域福祉活動を担っている市民やボランティアの方々も、この冊子で自分たちを含む活動の拡がりを見ることが出来たに違いない。

この 1 年間では相談件数はやや減少したが、こどもに関する相談が増加し、新しい取り組みも始まった。地域でのヒアリングを久しぶりに実施したこと、地域住民が気軽に集える空き家を活用した新たな拠点づくり、豊島区民社会福祉協議会との人事交流や都内の区社協との情報共有等がそうである。従来からのふくし学習や災害に対する取り組みも弛まなく継続している。

CSW が配置に就いて 10 年、やっと若生に成長した段階である。大木なるには次の 10 年を待ちたい。その時は地域福祉サポーターも 500 名を超える大木に育っていることを夢見たい。これからも地域住民の中で、メンタルヘルスに課題を抱える人や生きづらさを抱える人の「こころと生活に寄り添った支援」を続け、誰もが暮らしやすい新しい所沢の街づくりに向かうことに期待したい。

■ホームページ等一覧

★広報紙(ちゃお!・VC だより・SC 通信等)



★車いすステーション



★情報配信サービス(YouTube・LINE・メール)



■編集後記

報告書の作成を通じて、この一年間の歩みを振り返ることができました。写真に写るたくさんの住民の皆さまや関係機関の方々の姿を目にすると、CSW の活動がどれほど多くの方々に支えられているかを実感します。今後も一つひとつのつながりを大切に、地域に貢献できるよう取り組んでまいります。

社会福祉法人 所沢市社会福祉協議会

住 所:所沢市泉町 1861-1

所沢市こどもと福祉の未来館 3 階

電 話:04-2925-0041

FAX:04-2925-3419

メール:0041m@toko-shakyo.or.jp

ホームページ:<https://www.toko-shakyo.or.jp/>



*CSW 報告書は共同募金の配分金を活用しています。

所沢市イメージマスコット
トコロん